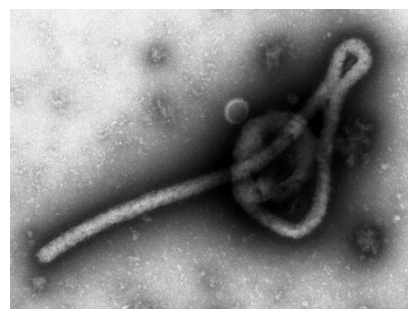


●大雨 各地で被害

大雨や台風11号によって日本各地で被害がでている。特に山口県岩国市、北海道函館市などで被害が大きかったが、最も多く雨が降ったのは高知県であった。

●WHOが“緊急事態”を宣言

猛威をふるうエボラ出血熱の現状を鑑みて、WHO（世界保健機構）はスイスのジュネーブで会見を開き、今日の感染被害は国際的な公衆衛生上の緊急事態だと宣言した。今回のケースでは、まずアフリカ大陸西部に位置するギニアで流行し、そこから徐々に感染を拡大させていったと考えられている。



エボラウイルス粒子の電子顕微鏡写真

●空の旅で新たな楽しみ

ハイテクノロジー化する操縦システムに対する影響を考慮して、これまで旅客機の離陸・着陸時等には電子機器類の使用が規制されていた。しかし今回、国土交通省の検証結果に基づき、電子機器の使用について規制緩和が行われることになった。これにより、電波を発しない状態に限って、パソコンや携帯ゲーム機など、またスマートフォンも機内モードで使用できるようになり、空の旅の楽しみが増えた。

●被爆から69年

広島県、長崎県に原子爆弾が投下されてから69年の月日が流れた。広島市で開催された平和記念式典で広島市市長は、平和主義を基本原理とする日本国憲法のもと、日本が戦争を放棄してきた事実を重く受け止める必要があると演説し、集団的自衛権の閣議決定など、厳しさを増す日本の安全保障環境に対して暗に牽制を行った。



*日本国憲法3つの基本原理・・・

国民主権、基本的人権の尊重、平和主義

*原子爆弾の投下日

広島県・・・1945年8月6日

長崎県・・・1945年8月9日

